

# TOTO

## トールキャビネット / ウォールキャビネット

LTSZB015・025・030・045型 / LWZB015・025・030・045AT型

商品の機能が十分に発揮されるように、この組立・設置説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

### 1. 安全上のご注意

- 取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けいただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。
- 使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表示	意味
 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	⊘は、してはいけない「禁止」内容です。		❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。
---	---------------------	---	------------------------

- 取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取り付け完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

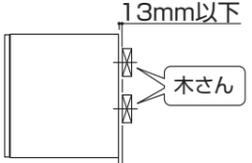
 **警告**

<p><b>電源コードを傷つけない</b> 漏電および火災の原因になります。</p> <p> 禁止</p>	<p><b>浴室など湿気の多い場所へ設置しない</b> 木部の膨潤、変形などによりキャビネットが外れてけがをするおそれがあります。</p> <p> 禁止</p>
---	---

 **警告**

壁固定用ねじ取り付け位置に木さんを入れて補強する  
キャビネットが転倒、落下しけがをするおそれがあります。

 必ず実行



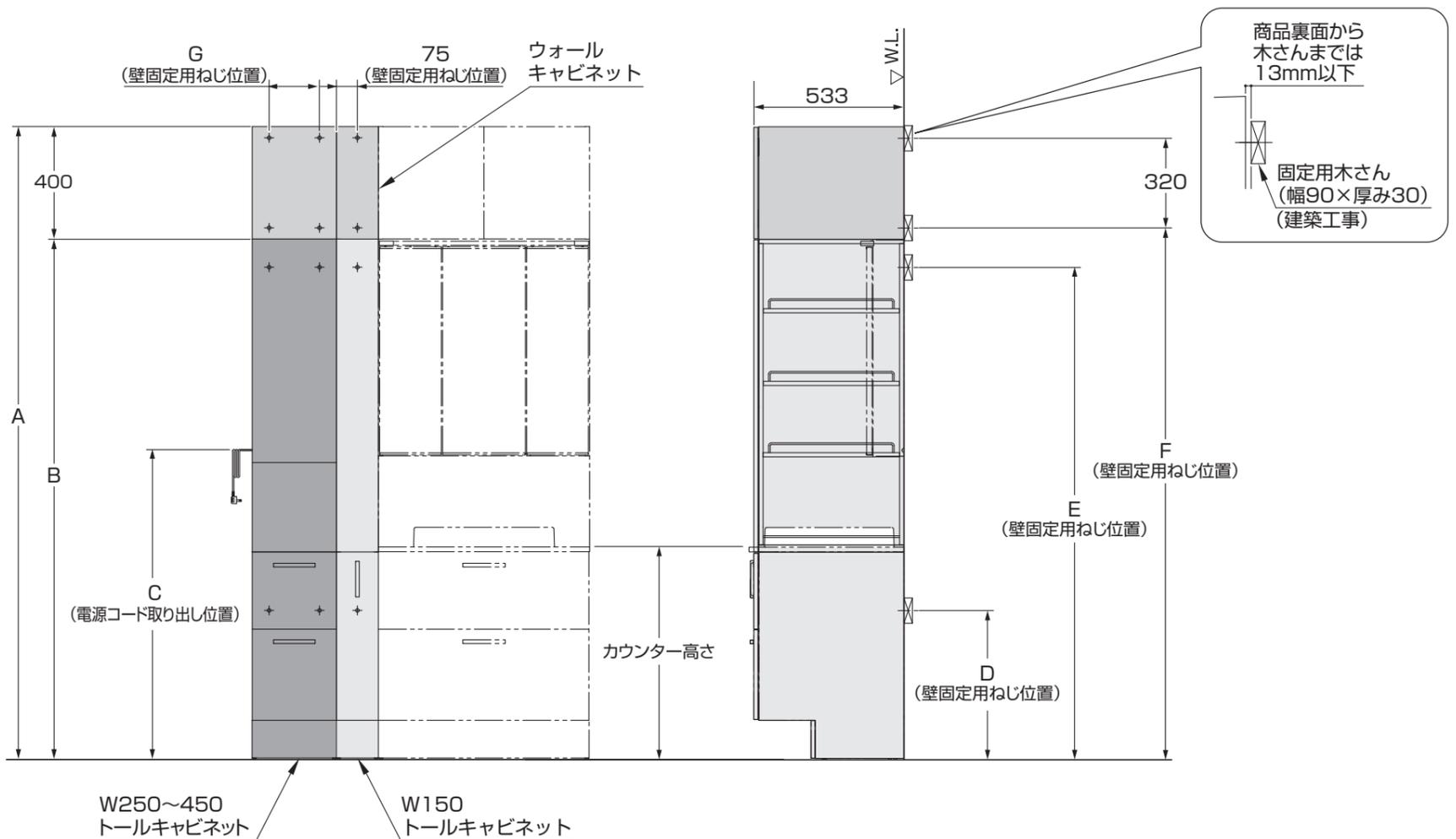
 **注意**

<p><b>洗面ボウルの上のにらない</b> 故障および転落・転倒してけがをするおそれがあります。</p> <p> 禁止</p>	<p><b>取り付け完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・がたつき・丁番のゆるみがないかを必ず確認する</b> 使用中にキャビネット・扉が落下してけがをするおそれがあります。</p> <p> 必ず実行</p>
---	---

### 2. 設置寸法

- 特注品の場合の設置寸法は、商品図を確認してください。

洗面ボウル仕様	カウンター高さ	A	B	C	D	E	F	キャビネット間口寸法	G
陶器製 広ふかボウル	805	2300	1900	1150	580	1800	1940	250	130
陶器製 洗面ボウル(ベッセル式)	755	2250	1850	1100	530	1750	1890	300	180
								450	330



### 3. 設置上のご注意

- 湿気の多い場所では、木部が膨潤する原因になりますので設置しないでください。特に浴室には、設置しないでください。

**重要**

天井フィラーを取り付ける場合は、キャビネット設置前に天井フィラーの組立・設置説明書をご覧ください。

- 取り付けは必ず平滑な壁面としてください。

### 4. 取り付け条件

**警告**

- **キャビネットの壁固定部分には、設置壁の裏面に固定用木さんを入れる**  
※ウォールキャビネットは洗剤などが収納されるとかなりの重量になりますので地震などの際に落ちることのないように、壁固定用ねじ取り付け位置には、壁面に固定用木さんを入れてください。
- **木さんを使用せず、下地材を合板とする場合は、設置壁の全面に厚み12mm以上のJAS規格品の合板を強固に取り付ける（建築工事）**



必ず実行

コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじにあったプラグ（引抜き強度：1,000N以上／本）を打ち込んでおいてください。  
プラグは壁固定用ねじにあわせて現場にて準備してください。  
（プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。）

キャビネットが転倒、落下してけがをするおそれがあります。

- キャビネットを取り付ける床面、壁面はクロス貼りなどの仕上げを施してください。

### 5. 付属部品明細

● ウォールキャビネット

※ 取り付け要領… **9**

名称	数量	数量	
		150サイズ	250・300・450サイズ
壁固定用ねじ (φ5.2×55)		2本	4本
連結用ねじ ※1 (φ3.9×28)		3本	4本
化粧キャップ		5個	8個
パッキン (厚み2mm)		1個	1個

● トールキャビネット（ノーマルタイプ）

※ 取り付け要領… **8**

名称	数量	数量	
		150サイズ	250・300・450サイズ
壁固定用ねじ (φ5.2×55)		1本	2本
連結用ねじ ※1 (φ3.9×28)		2本	2本
仕切板		2枚	—
化粧キャップ		3個	4個
すき間パッキン (厚み10mm)		1個	1個
パッキン (厚み2mm)		—	1個
取っ手		1個	—
バインド小ねじ (M4×25)		2本	—
壁固定用ねじ (φ5.2×55)		1本	2本
連結用ねじ ※1 (φ3.9×28)		—	2本
化粧キャップ		1個	4個
穴ふさぎ用 ※2 化粧キャップ		4個	—

● トールキャビネット（ランドリータイプ）

※ 取り付け要領… **8**

名称	数量
壁固定用ねじ (φ5.2×55)	2本
連結用ねじ ※1 (φ3.9×28)	2本
化粧キャップ	4個
網かご	1個
パッキン (厚み2mm)	1個
すき間パッキン (厚み10mm)	1個
壁固定用ねじ (φ5.2×55)	2本
連結用ねじ ※1 (φ3.9×28)	2本
化粧キャップ	4個
籐かご	1個
すき間パッキン (厚み10mm)	1個

※1: 隣接するキャビネットがない場合は、使用しません。  
※2: 壁およびキャビネットが隣接する場合は、使用しません。

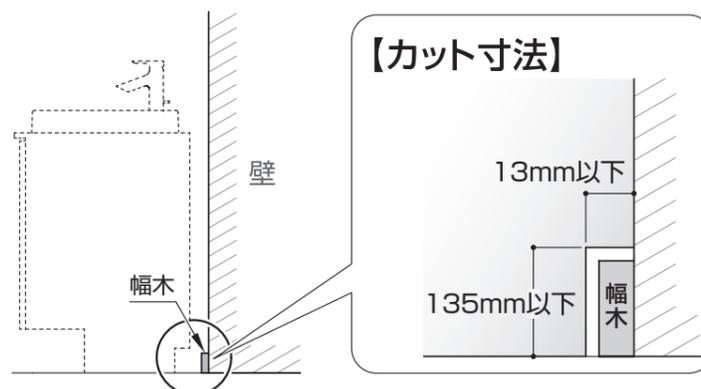
### 6. トールキャビネット品番明細

ノーマルタイプ		
セット品番	フロアキャビネット品番	ミドルキャビネット品番
LTSZB015A/BNL/R	LBZB015A/BNG	LLZB015GNL/R
LTSZB025A/BNL/R	LBZB025A/BNG	LLZB025GNL/R
LTSZB030A/BNL/R	LBZB030A/BNG	LLZB030GNL/R
LTSZB045A/BNL/R	LBZB045A/BNG	LLZB045GNL/R
ランドリータイプ		
セット品番	フロアキャビネット品番	ミドルキャビネット品番
LTSZB045A/BCL/R	LBZB045A/BCL/R	LLZB045GCL/R

### 7. キャビネットを取り付ける前に

**確認1** 後壁に幅木はありますか？

→ 壁に幅木がある場合は、下記寸法以下であればキャビネット後部をカットできます。



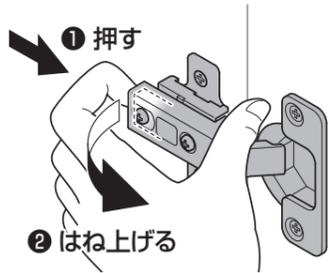
## 8. トールキャビネットの取り付け（番号順に取り付けてください。）

### 1 キャビネットの扉・引き出しの取り外し

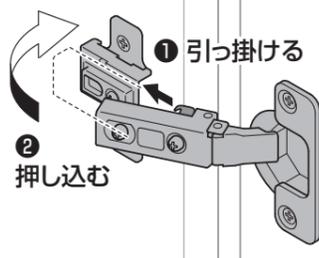
- ※外した扉・引き出しは傷が付かないように養生等をして保管ください。
- ※取り付け完了後、元に戻してください。
- ※下部に取り付けてある転倒防止材は、扉・引き出しを取り外すまで外さないでください。

#### 【開き扉】

##### 〈取り外し〉



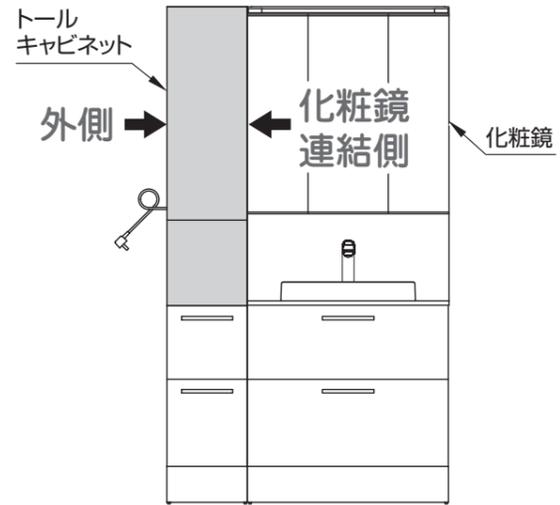
##### 〈取り付け〉



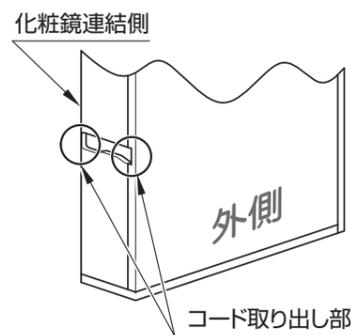
### 2 電源コードの取り出し

#### 【トールキャビネットの裏を電源コードが通る場合】

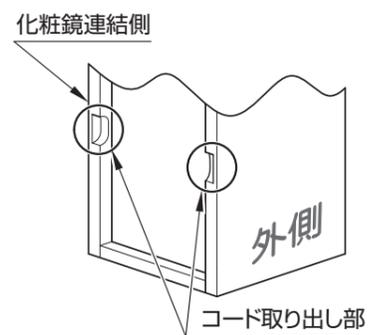
トールキャビネット裏面を化粧鏡のコード位置に合わせて  
⊖ドライバーで化粧板側（外側）から突き破る



#### 【150 サイズの場合】

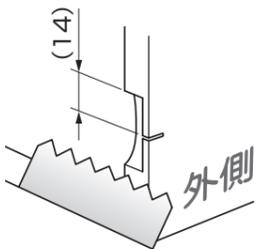


#### 【250～450 サイズの場合】

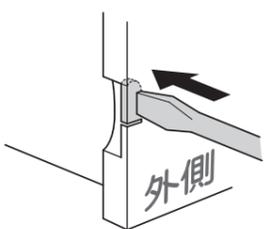


#### 〈外側〉

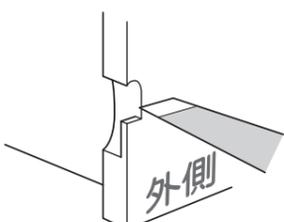
- 切り欠き部に合わせ、のこぎりで切り込みを入れる  
※外側は電源コードに合わせて切り欠いてください。



- 切り欠き部の上側を⊖ドライバーで化粧板側（外側）から突き破る  
※内側から突くと化粧板が欠けます。

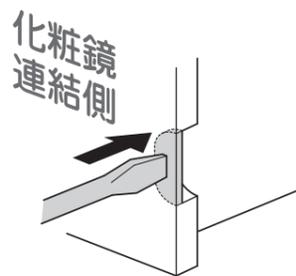


- 突き破った部分をナイフで仕上げる

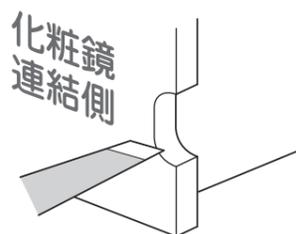


#### 〈化粧鏡連結側〉

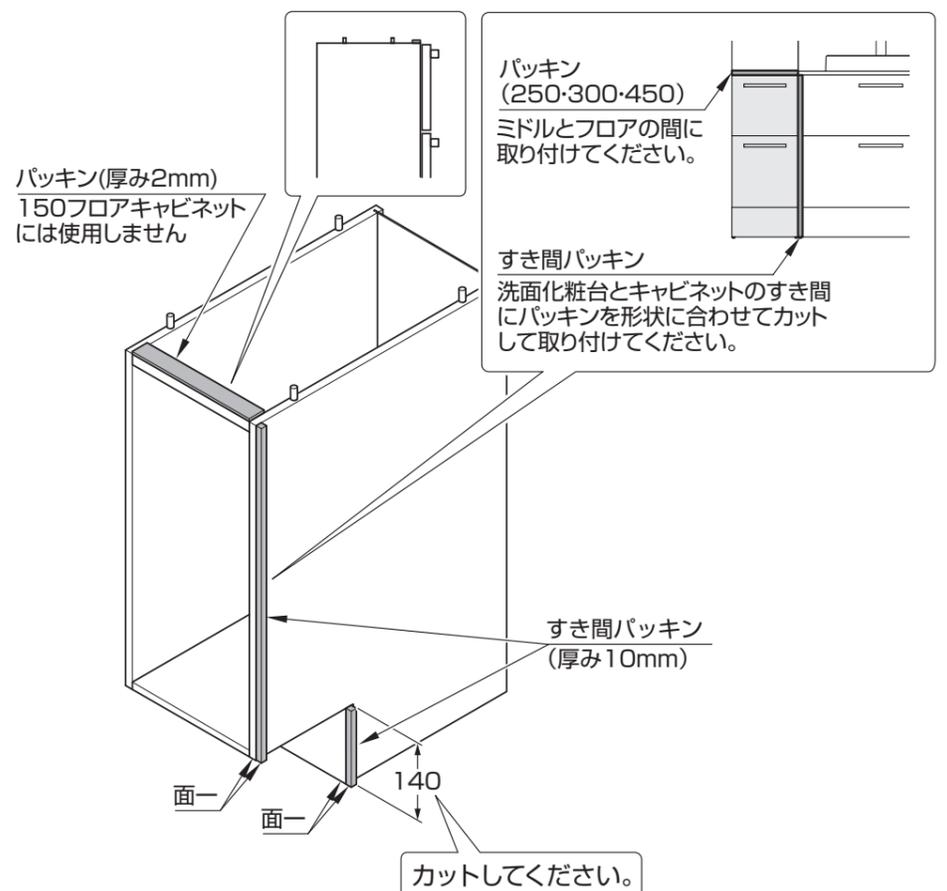
- 切り欠き部を⊖ドライバーで化粧板側（化粧鏡連結側）から突き破る  
※内側から突くと化粧板が欠けます。



- 突き破った部分をナイフで仕上げる



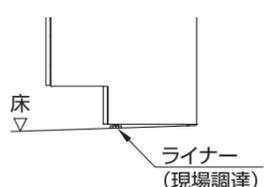
### 3 パッキンの取り付け



### 4 キャビネットの仮置き・水平確認

#### キャビネットを設置位置に仮置きする

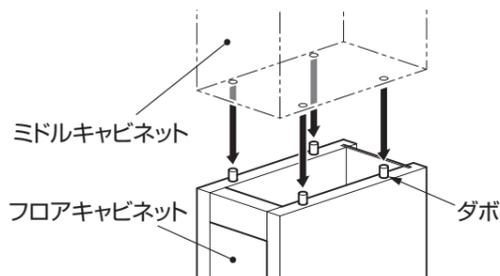
- ※床の水平が出ていない場合は、ライナー（現場調整）を入れて調整してください。
- ※ライナー（現場調達）で調整する前に、転倒防止の包装材を取り外してください。



## 8. トールキャビネットの取り付け (つづき)

### 5 ミドルキャビネットの連結

- 先にフロア部を壁固定し、フロア部のダボにミドル部のダボ穴を合わせてセットしてください。



### 6 エンドスペーサーの取り付け (別売品)

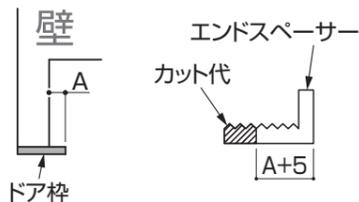
- 設置レイアウトよりエンドスペーサーが必要な場合は、次の要領で別売品のエンドスペーサーを取り付けてください。  
(トールキャビネット用エンドスペーサー…LEZB030GTT1G)

#### ① 寸法を測定し、エンドスペーサーをカットする

※エンドスペーサー幅は最小5mm、最大30mm対応可能です。

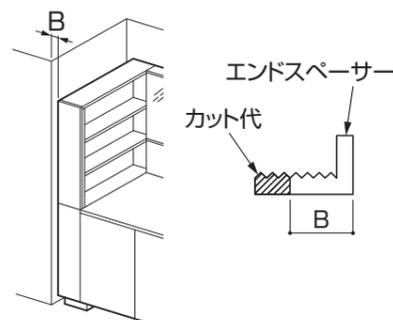
##### 【ドア枠がある場合】

- A寸法を測定し、エンドスペーサーを(A+5)mmにカットしてください。



##### 【すき間がある場合】

- エンドスペーサーを取り付けるキャビネットを所定の位置に仮置きしてください。
- 壁とのすき間B寸法を測定し、エンドスペーサーをB寸法にカットしてください。
- 仮置きしたキャビネットを取り外してください。



#### ② キャビネットにエンドスペーサーを合わせ、取付ねじ取り付け位置をけがく

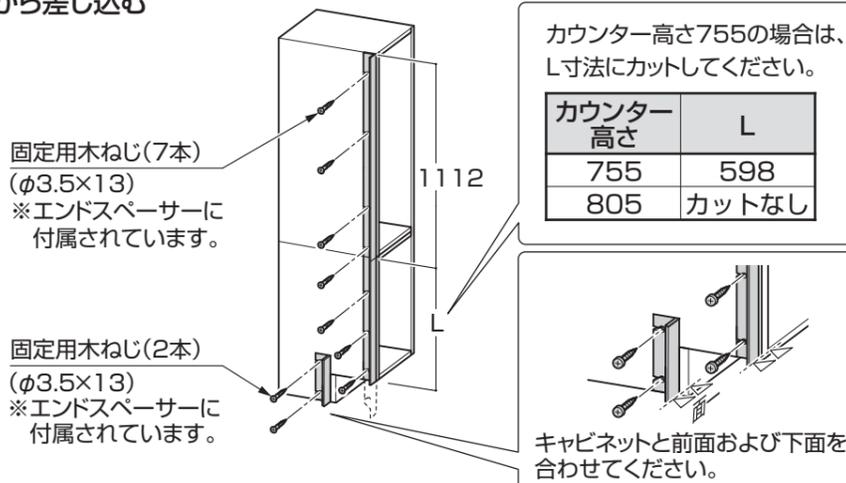
#### ③ けがき位置に下穴(φ2.5×深さ5)をあける

※下穴を貫通させないでください。

#### ④ エンドスペーサーを下穴に合わせ、取付ねじ(φ3.5×13)を取り付ける

※その際、エンドスペーサーの着脱ができるようねじの高さを調節してください。

#### ⑤ いったん、エンドスペーサーを取り外し、キャビネットを壁固定したあと、前から差し込む

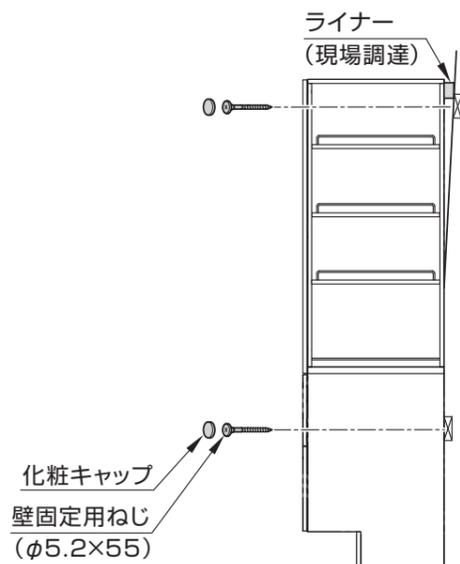


### 7 キャビネットの取り付け

- 付属の壁固定用ねじで壁に確実に固定してください。

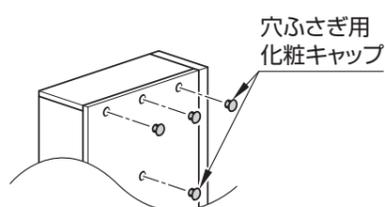
※壁がゆがんでいると、キャビネット本体がゆがんで取り付けますので、ライナー(現場調達)を入れて垂直に固定してください。

※コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじに合ったプラグ(引抜き強度:1,000N以上/本)を打ち込んでおいてください。プラグは壁固定用ねじに合わせて現場にて準備してください。(プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。)



#### 【間口150サイズの場合のみ】

- 壁およびキャビネットが隣接しない場合は、付属の穴ふさぎ用化粧キャップ(4個)を取り付けてください。



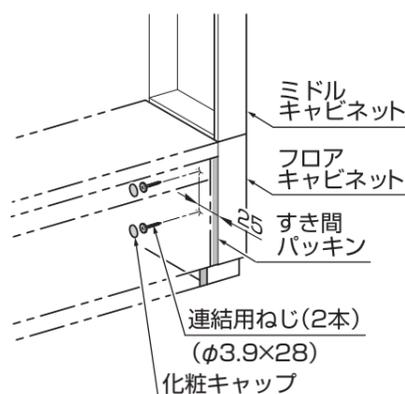
### 8 キャビネットの連結(隣接するキャビネットがある場合)

- 連結用ねじで固定する時は、下穴を設けてください。

※トールキャビネットは、水かかりでおこる木部変形を防ぐため、コーナーカバーを取り付けています。トールキャビネット同士で連結するとキャビネットにコーナーカバーが挟まれ、すき間が発生します。

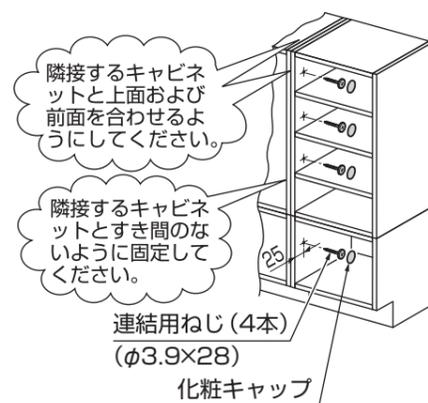
#### 【洗面化粧台と連結する場合】

- 隣接するキャビネットの内側から付属の連結用ねじ(2本)でキャビネットを固定してください。



#### 【洗面化粧台以外と連結する場合】

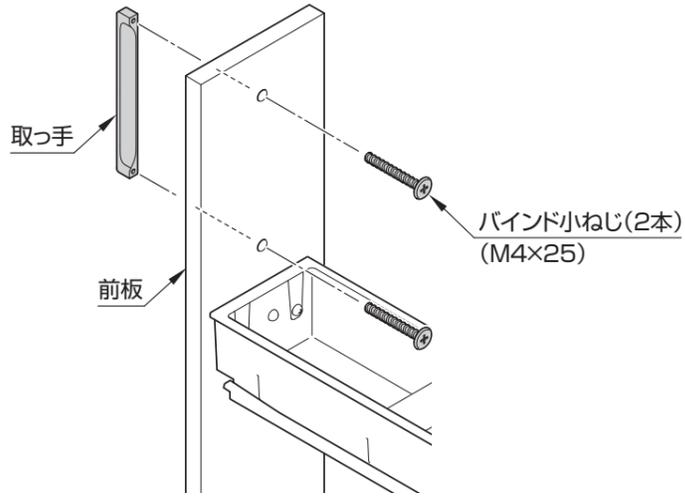
- キャビネットの内側より付属の連結用ねじ(4本)で隣接するキャビネットと固定してください。



## 8. トールキャビネットの取り付け (つづき)

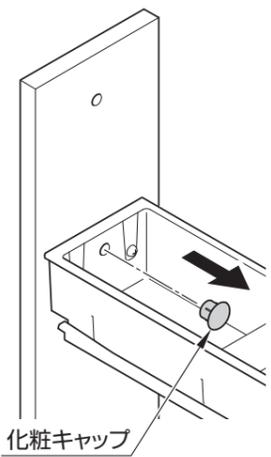
### 9 取っ手の取り付け (間口150サイズの場合)

- 取っ手の手がけ部が外側になるように取り付けてください。



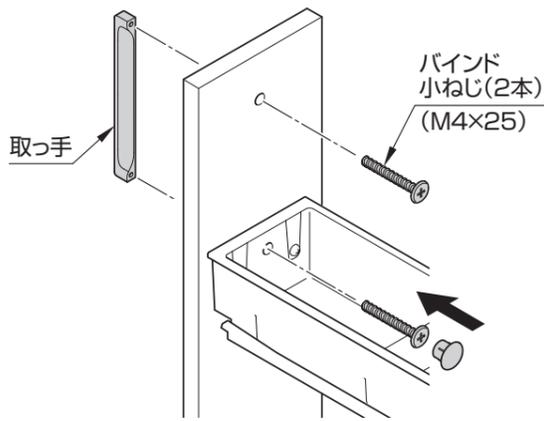
#### 【カウンター高さが755mmの場合】

##### ① 化粧キャップを取り外す



##### ② 取っ手を取り付ける

##### ③ 化粧キャップを取り付ける



### 10 洗面化粧台とすき間処理

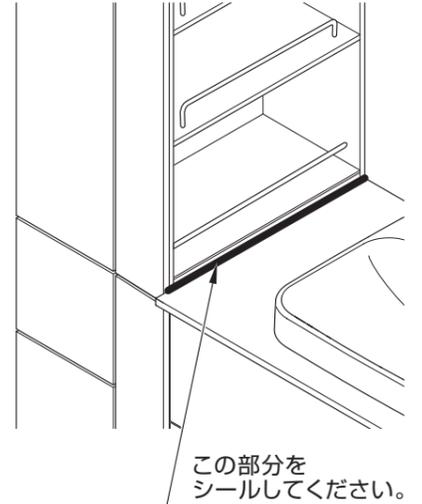
- カウンターとトールキャビネットの突き合わせ部をシリコンシール材でシールしてください。

#### ⚠ 注意

- 必ずシールをする**  
シールしないと突き合わせ部から水が浸入し、必ず実行 キャビネットや壁・床を傷める場合があります。

※推奨カラーは下表を参考にしてください。

カウンター色	シリコン系シール材推奨色
セルカホワイト(ホワイト系)	ホワイト
ライトウッドN(ベージュ系)	ベージュ
セルカダークグレー(グレー系)	グレー
ダルブラウン(ブラック系)	ブラック



## 9. ウォールキャビネットの取り付け (番号順に取り付けてください。)

### 1 エンドスペーサーの取り付け (別売品)

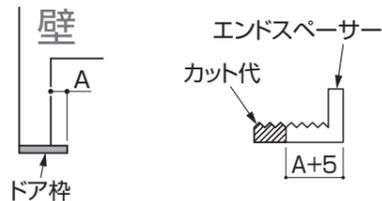
- 設置レイアウトよりエンドスペーサーが必要な場合は、次の要領で別売品のエンドスペーサーを取り付けてください。  
(トール用ウォールキャビネット用エンドスペーサー…LEZB030GWT1G)

#### ① 寸法を測定し、エンドスペーサーをカットする

※エンドスペーサー幅は最小5mm、最大30mm対応可能です。

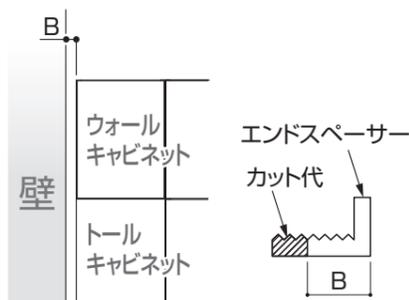
##### 【ドア枠がある場合】

- A寸法を測定し、エンドスペーサーを(A+5)mmにカットしてください。

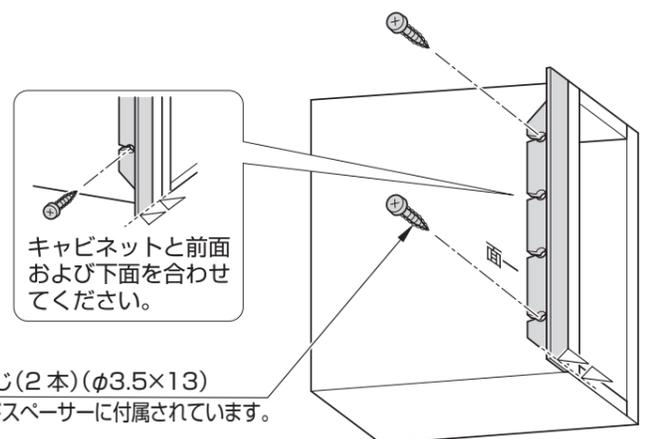


##### 【すき間がある場合】

- エンドスペーサーを取り付けるキャビネットを所定の位置に仮置きしてください。
- 壁とのすき間B寸法を測定し、エンドスペーサーをB寸法にカットしてください。
- 仮置きしたキャビネットを取り外してください。



#### 【トール用ウォールキャビネットの場合】

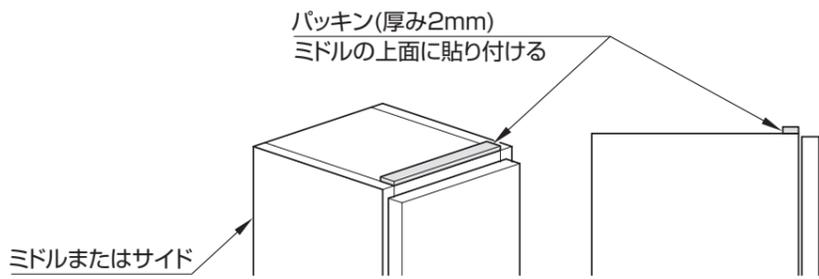


取付ねじ(2本)(φ3.5×13)  
※エンドスペーサーに付属されています。

## 9. ウォールキャビネットの取り付け（番号順に取り付けてください。）（つづき）

### 2 パッキンの取り付け

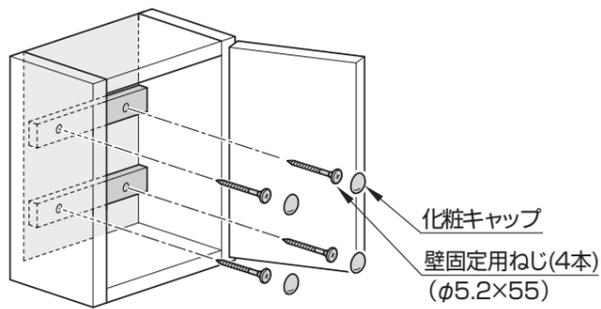
【ウォールキャビネットの下にミドルキャビネットがある場合】



### 3 キャビネットの取り付け

- 付属の壁固定用ねじ(4本)で壁に確実に固定してください。
- ※壁がゆがんでいると、キャビネット本体がゆがんで取り付けますので、ライナー(現場調達)を入れて垂直に固定してください。

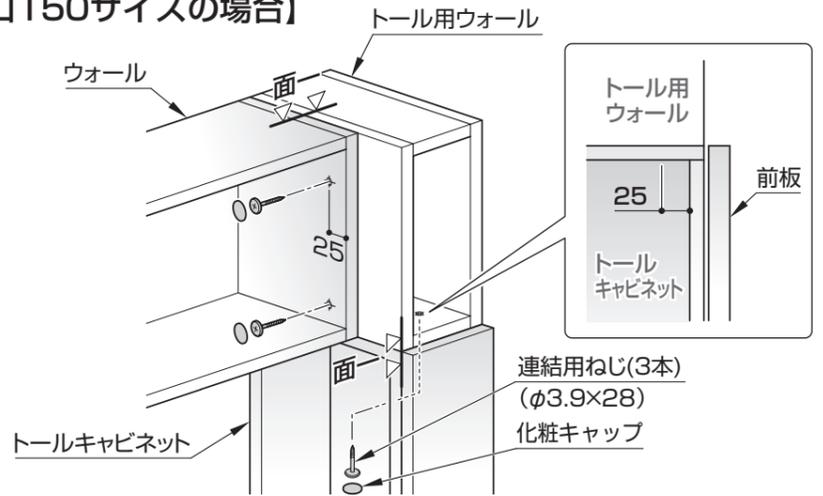
※コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじに合ったプラグ(引抜き強度:1,000N以上/本)を打ち込んでおいてください。プラグは壁固定用ねじに合わせて現場にて準備してください。  
(プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。)



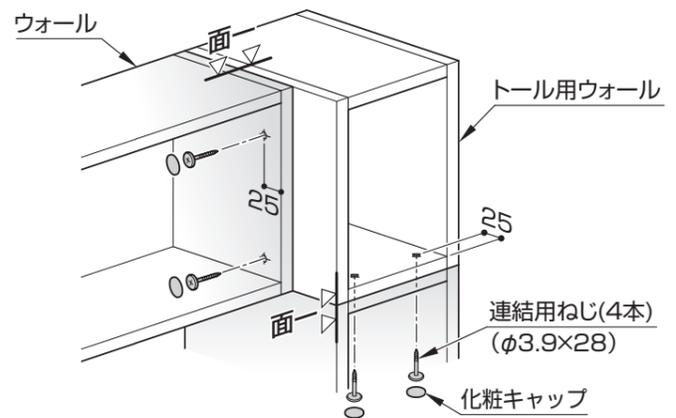
### 4 キャビネットの連結

- 隣接するキャビネットの内側から付属の連結用ねじでキャビネットを固定してください。
- ※隣接するキャビネットと前面を面一にすき間のないように固定してください。
- ※取付ねじで固定する時は、下穴を設けてください。

【間口150サイズの場合】



【間口250・300・450サイズの場合】



## 10. 取り付け完了後の確認と清掃

※扉・前板の傾き・がたつきなど丁番・レールのゆるみがないことを確認し、必ず調整をしてください。

- キャビネットが壁に完全に固定されているか確認してください。

### ⚠ 注意



#### 電動ドライバー禁止

部材が破損し扉の脱落につながり、けがをするおそれがあります。

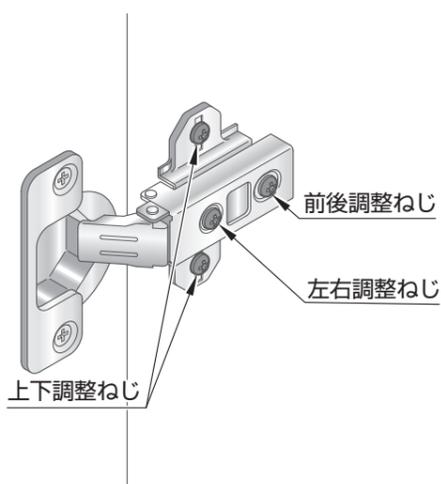


#### 調整後、上下調整ねじをしっかりと締め付けてゆるみのないことを確認する

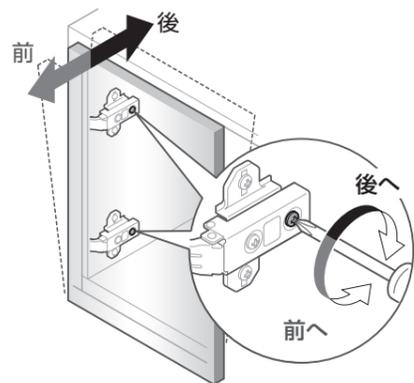
必ず実行 扉が落下してけがをするおそれがあります。

### 〈調整要領〉

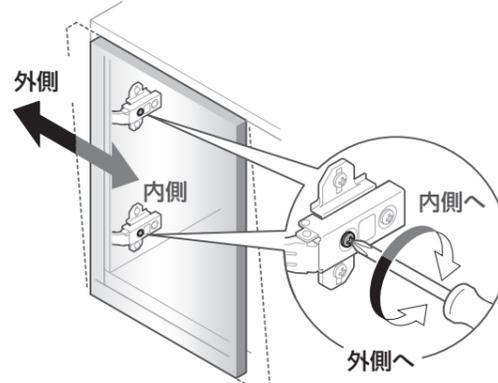
#### 【扉の丁番】



〈前後の調整〉  
左扉も右扉も右回して後へ  
左回して前へ動きます。

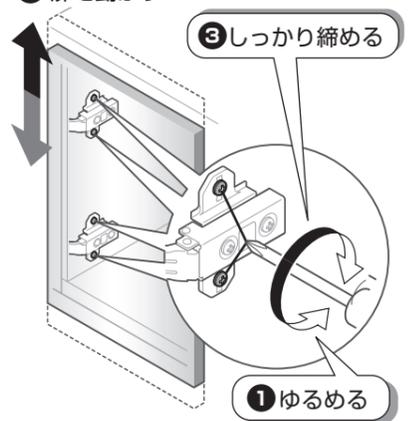


〈左右の調整〉  
左扉も右扉も右回して内側へ  
左回して外側へ動きます。



〈上下の調整〉

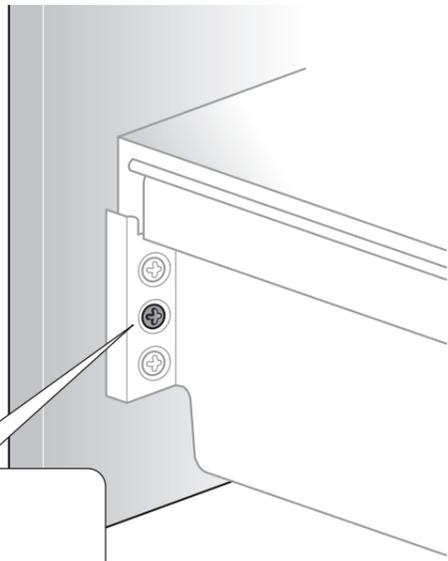
② 扉を動かす



# 10. 取り付け完了後の確認と清掃(つづき)

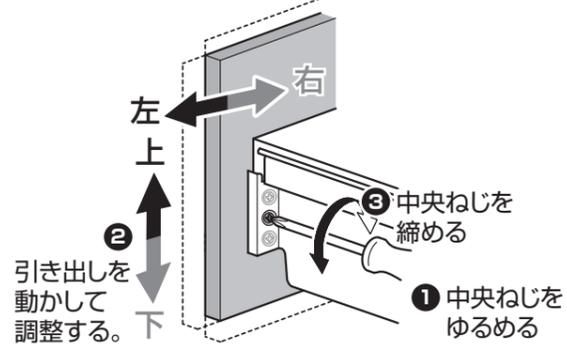
〈調整要領〉

## 【樹脂製引き出し】



〈上下・左右のずれ〉

中央ねじ(左右2カ所)をゆるめて調整する。  
※±2mm調整できます。  
(上下のねじはゆるめない。)



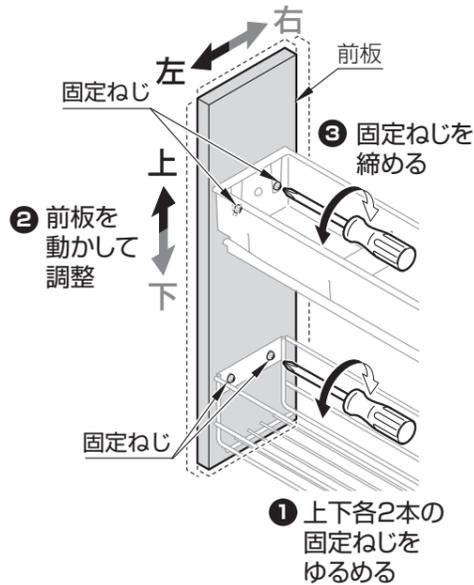
### ⚠ 注意

⚠ 調整後は必ず、中央ねじ(左右2カ所)を締め付ける  
引き出し前板が落下してけがをするおそれがあります。

必ず実行

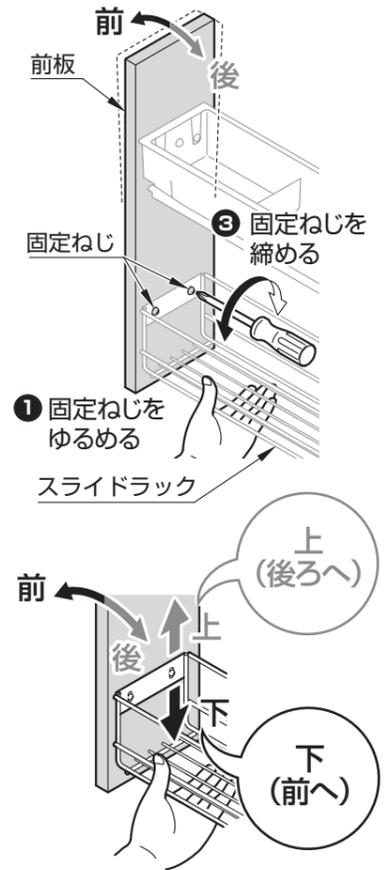
## 【スライドラック】

〈上下・左右のずれ〉  
前板で調整する。



〈前後のずれ〉

スライドラックで調整する。



### ⚠ 注意

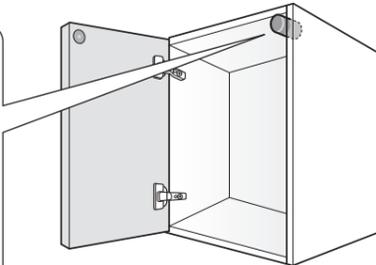
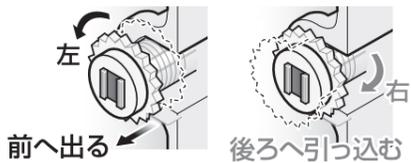
⚠ 調整後は必ず、固定ねじを締め付ける  
引き出し前板が落下してけがをするおそれがあります。

必ず実行

## 【プッシュラッチ】

〈前後のずれ〉

プッシュラッチを回して調整する。  
※扉が開かない場合は、左へ回してください。



- 扉が開閉するか確認してください。
- 棚受けダボの抜けがないか確認してください。
- 商品についた汚れ(プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む)は、ぬれた布をかたくしぼってふき取ってください。その後、水で湿らせた布に少量の中性洗剤をつけてふき上げ、最後にからぶきしてください。

### 重要

有機溶剤(シンナー・アセトン)などの使用は表面を変色・変質させますので、絶対に使用しないでください。

- 直射日光にさらされる場合は、必ずカーテンなどで遮ってください。